

レイカデイア大生

果樹の剪定丁寧に

甲良養護学校で実習

県社会福祉協議会が運営する「県レイカデイア大学」で学ぶ二十五人が、甲良養護学校の果樹園で「剪定実習」をした。県レイカ

デイア大学では、県内の六十歳以上の高齢者三百三十



二人が、陶芸学科や健康づくり学科など六コースに分かれて学んでいる。この日は、園芸学科の学生が参加。講師の指導を受けながら、栗や梅、キウイなどの木の枝を、のこぎりで切り落とした。

参加した寺嶋作雄さん（六七）＝甲良町尼子＝は「果樹の剪定を体験できる機会は貴重。来年、たくさんのがなるとうれしい」と話した。（安江紗那子）

枝を切り落とす参加者たち＝4日、甲良町金屋で